

## いなべ市の給与・定員管理等について

### 1 総括

#### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (23年度末)	歳 出 額 A	実 質 収 支	人 件 費 B	人 件 費 率 B/A	(参考) 23年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
24年度	46,263	21,056,553	1,433,275	3,023,217	14.4	16.1

#### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

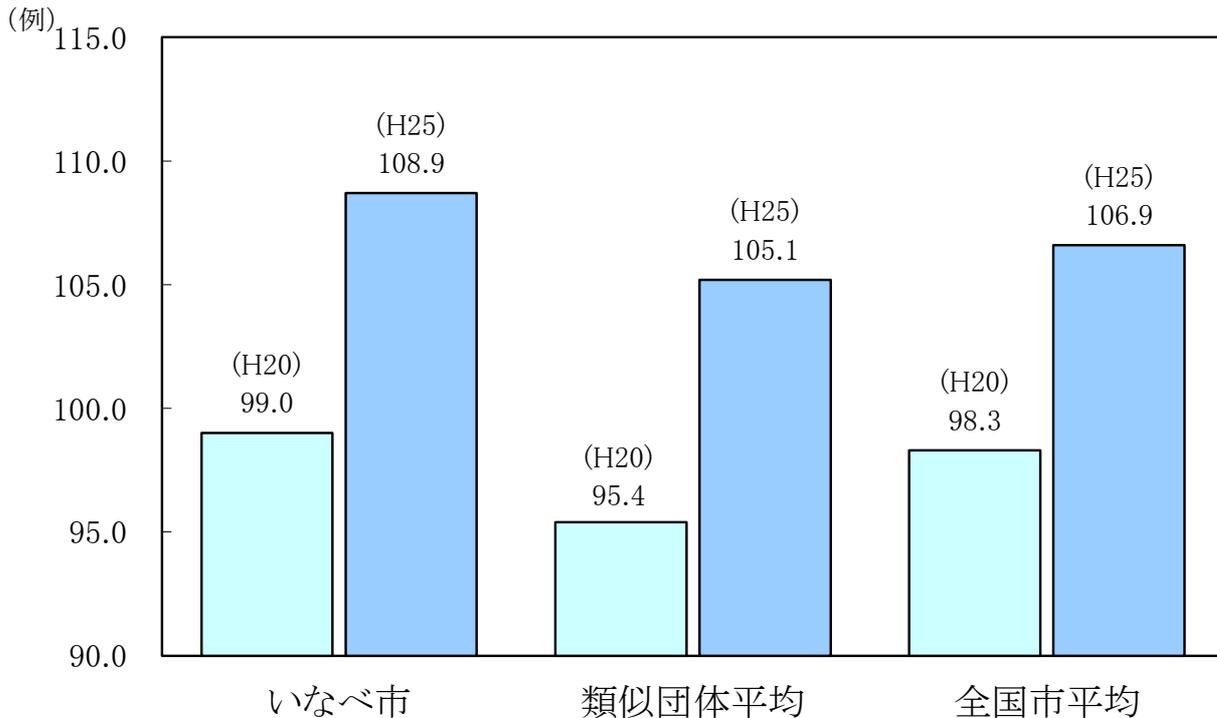
区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		一人当たり給与費
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
24年度	341	1,334,906	156,189	497,978	1,989,073	5,833	5,751

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
 2 職員数は、24年4月1日現在の人数である。

#### (3) 特記事項

なし

#### (4) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数である。  
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

## 2 一般行政職給料表の状況（25年4月1日現在）

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
1号給の給料月額	135,600	185,800	222,900	261,900	289,200	320,600	366,200	413,000
最高号給の給料月額	243,700	307,800	354,700	388,300	400,600	422,600	456,200	478,200

## 3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（25年4月1日現在）

#### ①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
いなべ市	44.7 歳	350,954 円	396,021 円	377,723 円
三重県	43.2 歳	349,172 円	457,085 円	— 円
国	43.1 歳	332,446 円	— 円	405,463 円
類似団体	43.4 歳	327,289 円	378,941 円	351,938 円

#### ②技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
いなべ市	50.0歳	20人	252,005円	262,011円	253,175円	—	—	—	—
うち学校給食員	50.2歳	6人	269,533円	276,167円	269,533円	調理士	43.1歳	266,000円	1.04
うち用務員	56.6歳	2人	256,000円	260,100円	256,000円	用務員	53.5歳	206,000円	1.26
うち施設職員	48.8歳	12人	242,575円	255,251円	244,525円	—	—	—	—
三重県	48.6歳	—	348,405円	405,289円	—	—	—	—	—
国	49.9歳	—	286,850円	—	325,400円	—	—	—	—
類似団体	49.3歳	—	286,826円	315,435円	298,296円	—	—	—	—

区分	参考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員(C)	民間(D)	C/D
いなべ市	4,128,962	—	—
うち学校給食員	4,379,508	3,616,600	1.21
うち用務員	4,111,465	2,861,400	1.44
うち施設職員	4,006,604	—	—

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成21～23年の3ヶ年平均)

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

(注) 1 「平均給料月額」とは、25年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には通勤手当、時間外勤務手当及び特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものである。

(2) 職員の初任給の状況（25年4月1日現在）

区 分		いなべ市	三重県	国
一般行政職	大 学 卒	178,800 円	178,800 円	172,200 円
	高 校 卒	149,800 円	144,500 円	140,100 円
技能労務職	高 校 卒	133,100 円	144,500 円	—
	中 学 卒	— 円	— 円	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（25年4月1日現在）

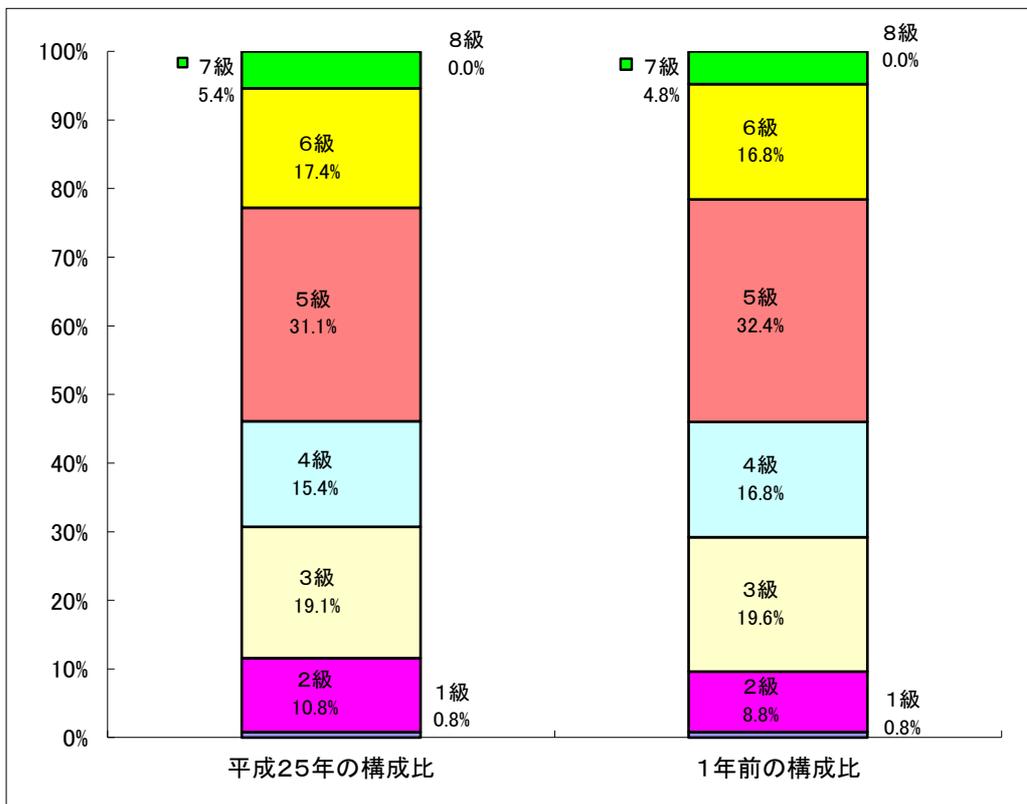
区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大 学 卒	265,700 円	309,300 円	373,700 円
	高 校 卒	— 円	— 円	— 円

4 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（25年4月1日現在）

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1 級	主事	2人	0.8%
2 級	主事	26人	10.8%
3 級	主任、主事	46人	19.1%
4 級	主幹、主査、主任	37人	15.4%
5 級	課長(室長、所長、局長を含む)、特命監、参事、課長補佐	75人	31.1%
6 級	次長、課長(室長、所長、局長を含む)、特命監、参事	42人	17.4%
7 級	部長、次長、課長(室長、所長、局長を含む)	13人	5.4%
8 級	部長	0	0.0%

- (注) 1 いなべ市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。  
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

職務や職責に応じた業務の目標管理を行い、目標の達成度による「業績」と職務を遂行する「能力」から評価する新しい人事管理制度を導入している。  
 現在、評価結果は昇給への勤務成績に反映していない。今後は評価結果に応じた昇給制度の確立を図っていく。

5 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

いなべ市	三重県	国
1人当たり平均支給額(24年度) 1,401 千円	1人当たり平均支給額(24年度) 1,596 千円	—
(24年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 ( 1.45 )月分 勤勉手当 1.35 月分 ( 0.65 )月分	(24年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 <同 左>	(24年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 <同 左>
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5%~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5%~20% 管理職加算15%~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5%~20% 管理職加算10%~25%

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況 (一般行政職)

職務や職責に応じた業務の目標管理を行い、目標の達成度による「業績」と職務を遂行する「能力」から評価する新しい人事管理制度を導入している。  
 現在、管理職には勤勉手当への勤務実績を反映している。管理職以外の職員については試行の段階であるが、結果を踏まえながら制度構築を進め、評価結果に応じた勤勉手当の制度の確立を図っていく。

(2) 退職手当 (25年4月1日現在)

いなべ市			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.03 月分	28.7875 月分	勤続20年	23.50 月分	30.55 月分
勤続25年	32.83 月分	38.955 月分	勤続25年	33.50 月分	41.34 月分
勤続35年	46.55 月分	55.86 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	55.86 月分	55.86 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
<その他の加算措置> 定年前早期退職特例措置(2%~20%加算)			<その他の加算措置> 定年前早期退職特例措置(2%~20%加算)		
1人当たり平均支給額	8,138 千円	22,759 千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、24年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当

(25年4月1日現在)

支給実績(24年度決算)		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(24年度決算)		0 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
—	0 %	0 人	0 %

※平成21年4月から地域手当の支給を停止している。

(4) 特殊勤務手当 (25年4月1日現在)

支給実績(24年度決算)	285 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(24年度決算)	20,377 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(24年度)	3.8 %		
手当の種類(手当数)	3種類		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
防疫等業務手当	防疫等の業務に従事した職員	防疫等業務 動物の死骸処理作業	防疫等業務:日額2,000円 死骸処理 :日額1,000円
大型自動車運転手当	大型乗用自動車の運転に従事した職員	大型乗用自動車の運転	いなべ市職員旅費に関する 条例に定める日当の額
福祉業務手当	福祉事務所に勤務する職員	社会福祉業務に関する 現業又は指揮監督を行う 業務	日額680円

(5) 時間外勤務手当

支給実績(24年度決算)	47,997 千円
職員1人当たり平均支給年額(24年度決算)	131 千円
支給実績(23年度決算)	49,142 千円
職員1人当たり平均支給年額(23年度決算)	124 千円

(6) その他の手当 (25年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (24年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (24年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000円 配偶者以外 6,500円 ただし 配偶者のない場合の 1人目 11,000円 満16歳～満22歳の子の加算 5,000円	同じ		39,006 千円	240,780 円
住居手当	【借家、借間】 家賃が8,000円を超え20,000円以下 家賃-8,000円 家賃が20,000円を超える (家賃-20,000円)×1/2+12,000円 支給限度額 27,000円 【自宅】 2,700円	異なる	国 【借家、借間】 家賃が12,000円を超え23,000円以下 家賃-12,000円 家賃が23,000円を超え55,000円未満 (家賃-23,000円)×1/2+11,000円 家賃が55,000円以上 27,000円	11,043 千円	58,740 円
通勤手当	交通機関等利用者 運賃等相当額(支給限度額 55,000円) 交通用具(自動車等)利用者 片道2km以上の距離区分に応じ 3,000円～40,700円	異なる	国 交通用具(自動車等)利用者 片道2km以上の距離区分に応じ2,000円～24,500円	23,750 千円	75,637 円
管理職手当	部長・局長級(7級) 62,000円 次長級(6級) 58,000円 課長級(6級) 45,000円 課長級心得(5級) 43,000円 保育園長(6級) 35,000円 保育園長心得(5級) 33,000円 特命監(6級) 20,400円 ※部長・局長級(7級)は、管轄する部署数により加算があります。	異なる	国 10級一種 139,300円～ 4級五種 46,300円	40,280 千円	567,319 円
管理職員特別勤務手当	部長・局長級(8・7級) 10,000円 次長級(6級) 8,500円 課長級(6・5級) 7,000円	同じ		63 千円	63,000 円
宿日直手当	一般の宿日直 4,200円 特殊な業務を主として行う宿日直 8,400円	同じ		2,516 千円	10,615 円
単身赴任手当	公署を異にする異動又は在勤する公署の移転に伴い、住居を移転し、やむを得ない事情により、同居していた配偶者と別居し、単身で生活することを常況とし、距離制限(60km)を満たす職員 25,000円+加算額(職員の住居と配偶者等の住居との間の交通距離に応じて加算(上限45,000円)する。)	異なる	国 23,000円+加算額(加算額は同じ)	100 千円	100,000 円

## 6 特別職の報酬等の状況（25年4月1日現在）

区 分		給 料 月 額 等		
給 料 報 酬	市 長	950,000 円	(参考)類似団体における最高/最低額	
	副 市 長	750,000 円	950,000 円 / 427,500 円	
	議 長	495,000 円	503,000 円 / 310,000 円	
期 末 手 当	副 議 長	420,000 円	431,000 円 / 280,000 円	
	議 員	390,000 円	392,000 円 / 260,000 円	
退 職 手 当	市 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	副 市 長	950,000円×48月×0.416	18,969,600円	任期毎
		750,000円×48月×0.25	9,000,000円	任期毎

## 7 職員数の状況

### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

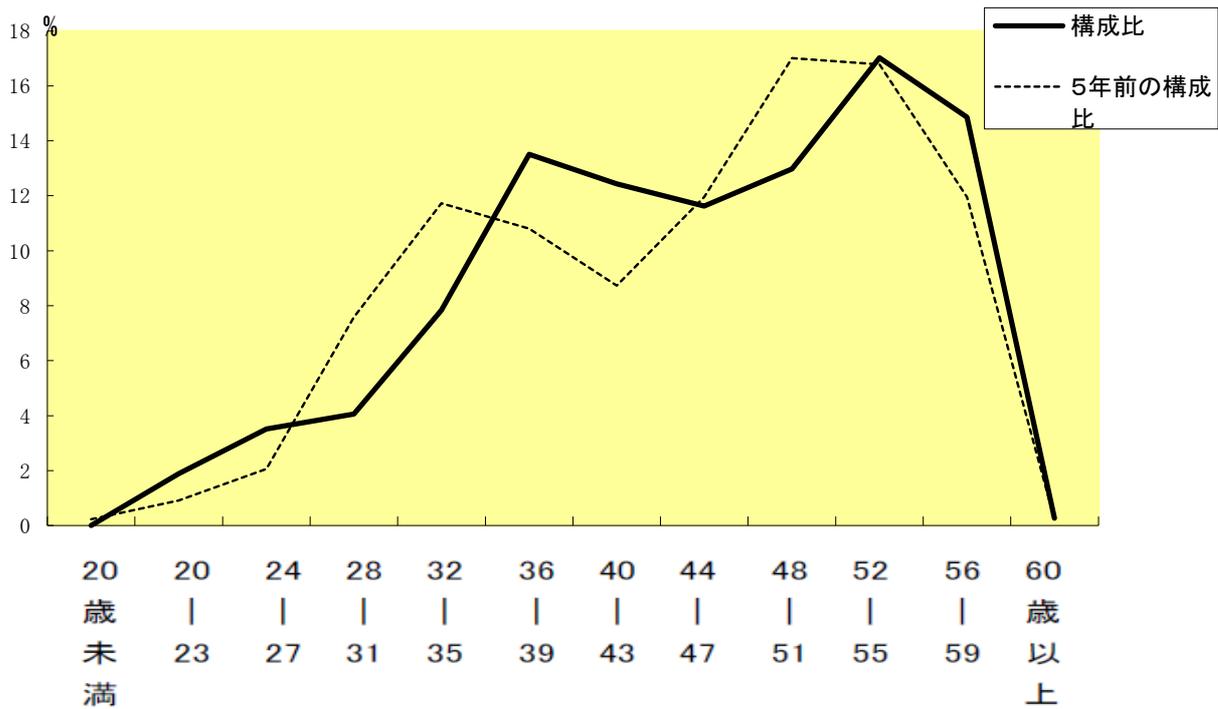
(各年4月1日現在)

部 門	区 分	職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由	
		平成25年	平成24年			
普通会計部門	一般行政部門	議 会	7	5	2	議事関係業務の充実
		総 務	91	97	△ 6	組織の再編に伴う事務の統廃合
		税 務	24	22	2	課税業務の充実
		民 生	85	96	△ 11	保育士退職不補充及び福祉事務所職員の整理
		衛 生	34	31	3	健康推進事業及び発達支援事業の充実
		農林水産	17	17	0	
		商 工	4	4	0	
		土 木	24	24	0	
	計	286	296	△ 10	<参考>一般行政部門 人口1万人当りの職員数 61.8人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数58.1人)	
	教育部門	44	45	△ 1		
小 計	330	341	△ 11	<参考>普通会計部門 人口1万人当りの職員数 71.3人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数77.0人)		
公営企業計等部門	水 道	14	14	0		
	下水道	8	8	0		
	その他	18	18	0		
	小 計	40	40	0		
合 計	370 [ 499 ]	381 [ 499 ]	△ 11 [499]	<参考> 人口1万人当りの職員数 79.9人		

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 [ ]内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況 (25年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	0人	7人	13人	15人	29人	50人	46人	43人	48人	63人	55人	1人	370人

(3) 職員の推移 平成20年度～平成25年度

年度 部門別	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
一般行政	325	325	317	308	296	286
教育	70	57	52	49	45	44
警察	-	-	-	-	-	-
消防	-	-	-	-	-	-
普通会計計	395	382	369	357	341	330
公営企業等会計計	40	41	41	40	40	40
総合計	435	423	410	397	381	370

## 8 公営企業職員の状況

### (1) 水道事業

#### ① 職員給与費の状況

##### ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 23年度の総費用に占 める職員給与費比率
	千円	千円	千円	%	%
24年度	793,688	89,490	117,362	14.8	13.7

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり	
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	給与費	B/A
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
24年度	15	62,681	7,805	22,988	93,474	6,232	

(参考)市町村 (政令指定都市を除く) 一人当たり給与費
千円 6,350

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。  
2 職員数は、24年4月1日現在の人数である。

##### イ 特記事項

なし

#### ② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況 (25年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
いなべ市	44.0 歳	358,351 円	532,247 円
市町村 (政令指定都市を除く)	45.4 歳	358,043 円	528,316 円
事業者	— 歳	—	— 円

- (注) 1 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。  
2 事業者の基本給、平均月収については、参考になる資料がないため掲載していない。

#### ③ 職員の手当の状況

##### ア 期末手当・勤勉手当

いなべ市		いなべ市一般行政職	
1人当たり平均支給額(24年度)		1人当たり平均支給額(24年度)	
1,550 千円		1,401 千円	
(24年度支給割合)		(24年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	<同 左>	
2.60 月分	1.35 月分		
( 1.45 )月分	( 0.65 )月分		
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5%~15%		<同 左>	

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

##### イ 退職手当 (25年4月1日現在)

いなべ市			いなべ市一般行政職		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.03 月分	##### 月分	勤続20年	23.50 月分	30.55 月分
勤続25年	32.83 月分	38.955 月分	勤続25年	33.50 月分	41.34 月分
勤続35年	46.55 月分	55.86 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	55.86 月分	55.86 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
<その他の加算措置>			<その他の加算措置>		
定年前早期退職特例措置(2%~20%加算)			定年前早期退職特例措置(2%~20%加算)		
1人当たり平均支給額	— 千円	29,059 千円	1人当たり平均支給額	千円	千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、24年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当

(25年4月1日現在)

支給実績(24年度決算)		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(24年度決算)		0 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度(支給率)
県内	0 %	14 人	0 %

エ 特殊勤務手当 (25年4月1日現在)

支給実績(24年度決算)		— 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(24年度決算)		— 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(24年度)		— %	
手当の種類(手当数)		—	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
—	—	—	—

(注) 水道事業では、本手当はありません

オ 時間外勤務手当

支給実績(24年度決算)	1,744 千円
職員1人当たり平均支給年額(24年度決算)	116 千円
支給実績(23年度決算)	917 千円
職員1人当たり平均支給年額(23年度決算)	76 千円

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

カ その他の手当 (25年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (24年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (24年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000円 配偶者以外 6,500円 ただし 配偶者のない場合の 1人目 11,000円 配偶者を扶養親族としていない場合の 1人目 6,500円 満16歳～満22歳の子の 加算 5,000円	同じ	—	1,524 千円	217,714 円
住居手当	【借家、借間】 家賃が8,000円を超え 20,000円以下 家賃-8,000円  家賃が20,000円を 超える (家賃-20,000円) ×1/2+12,000円 支給限度額 27,000円  【自宅】 2,700円	同じ	—	940 千円	85,418 円
通勤手当	交通機関等利用者 運賃等相当額(支給限度額 55,000円)  交通用具(自動車等)利用者 片道2km以上の距離区分に応じ 3,000円～40,700円	同じ	—	1,091 千円	72,747 円
管理職手当	部長・局長級(7級) 62,000円 次長級(6級) 58,000円 課長級(6級) 45,000円 課長級心得(5級) 43,000円 特命監(6級) 20,400円 ※部長・局長級(7級)は、管轄する部署数により加算があります。	同じ	—	1,925 千円	641,637 円
管理職員特別勤務手当	部長・局長級(8・7級) 10,000円 次長級(6級) 8,500円 課長級(6・5級) 7,000円	同じ	—	— 千円	— 円
単身赴任手当	公署を異にする異動又は出勤する公署の移転に伴い、住居を移転し、やむを得ない事情により、同居していた配偶者と別居し、単身で生活することを常況とし、距離制限(60km)を満たす職員 25,000円+加算額(職員の住居と配偶者等の住居との間の交通距離に応じて加算(上限45,000円)する。)	同じ	—	— 千円	— 円